

アベサン、
あまりにひどい

!! 沖縄の民意無視 !! 土砂投入拡大

強権政治に審判を

2月24日の沖縄県民投票で、名護市辺野古への米軍新基地建設・埋め立て「反対」が投票総数の約72%を占めました。民主主義の国なら、この圧倒的な民意に従い、すぐに工事を中止すべきです。

ところが安倍首相は美しい辺野古の海の埋め立て工事を続行し、3月25日には新たな区画への土砂投入を強行しました。4月5日には、防衛大臣が国土交通大臣に審査を求める茶番劇で、沖縄県の「埋め立て承認撤回決定」を取り消しました。

アメリカの基地を造るためなら民主主義も地方自治もふみにじる、対米従属の強権政治です。「沖縄の民意に従い、工事は中止を」の声を、全国であげましょう。

沖縄県民投票で

辺野古新基地建設
「反対」72%



マヨネーズ状

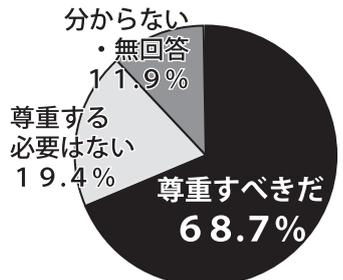
海底に広がる超軟弱地盤

完成できない基地に2.5兆円

大浦湾の埋め立て予定地の海底には超軟弱地盤が6割を占め、水深90mまで続いています。作業船で改良工事できるのは水深70mまでです。つまりこの工事は完成する見込みのない、完成しても地盤沈下していく基地なのです。工期は13年以上、費用は2.5兆円をはるかに超えます。その間、県民は普天間基地のオスプレイや米軍機の危険にさらされ続けます。

「普天間基地の危険性除去」というなら、一刻も早く運用停止、撤去すべきです。普天間基地は県民の土地を強奪してつくられた侵略部隊・米海兵隊の出撃拠点であり、「日本防衛」とは無縁です。返還は当然です。

「県民投票の結果を政府は」



「共同通信」世論調査
(全国、3/11付)

新基地建設反対の署名にご協力ください

日本平和委員会 2019年4月発行
一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです
<http://j-peace.org/>
東京都港区芝1-4-9平和会館4階
TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277